

(報告事項)

第 1137 回経営委員会資料
平成 23 年 2 月 22 日

平成22年度第 8 回
視聴者のみなさまと語る会 開催報告書
(平成22年12月 4 日 高知放送局開催)

経営委員会事務局

<会合の概要>

「経営委員会による受信者意見聴取」の平成 22 年度第 8 回は、高知放送局で実施し、「放送」「経営など全般」の 2 つのテーマで、公募による 34 人の視聴者の皆さまからご意見を伺った。

<会合の名称>

視聴者のみなさまと語る会～NHK経営委員とともに～in 高知

<会合日時>

平成 22 年 12 月 4 日（土） 午後 2 時から午後 4 時まで

<出席者>

- 【経営委員】 井 原 理 代 （委員）
 大 滝 精 一 （委員）
 浜 田 健一郎 （委員）
- 【執行部】 永 井 研 二 （専務理事）
 黒 木 隆 男 （理事）
 酒 井 泰 吉 （高知放送局長）
- 【視 聴 者】 公募による視聴者 34 人
- 【司 会】 末 田 正 雄 アナウンサー

<会場>

高知放送局 第 1 スタジオ

<開催項目>

以下のとおり進行した。

- 1 開会あいさつ
- 2 経営委員による説明
 協会の基本方針その他協会の運営に関する重要な事項について
- 3 意見の聴取
 (1) NHKの放送について
 (2) NHKの経営全般について
- 4 閉会あいさつ

「視聴者のみなさまと語る会」終了後、制作局の渡辺一貴ディレクターによる『龍馬伝』制作舞台裏」と題した講演会を開催した。

<概要・反響・評価>

- 公募の結果、はがき・ホームページを通じて計 54 人の参加申し込みがあった。会場の収容力の範囲内であることや、できるだけ多くの視聴者の方々にご来場いただきたいということから全員に案内を送付した。その際、参加者の意見の把握と参加意思の確認のために事前アンケート調査を実施したところ、45 人から回答・返送があり、33 人が参加すると答えていた。当日は、34 人が来場・参加した。

- 会合は、「放送」と「経営全般」の 2 つのテーマを設定し、進行した。参加者からは、公共放送への期待と職員倫理、番組編成、地域放送、地上デジタル放送、受信料、経営計画への取り組み状況などについて幅広く示唆に富む意見・提言が多数寄せられた。最後に井原委員・大滝委員・浜田委員が「公共放送NHKは、民主主義の根幹を支える、ひとつの社会基盤の役割を果たさなければならない」、「NHKの地域放送が果たす役割は非常に大きいと認識している」、「構造改革、組織風土改革を徹底し、いい経営をなさなければならない」と述べて会合を締めくくった。

- 参加者全員が発言する時間がなかったため、当日も意向収集のアンケート調査を行い、当日参加者 34 人中、32 人から回答を得た。回答者は、20 歳代 1 人、30 歳代 4 人、40 歳代 3 人、50 歳代 5 人、60 歳代 13 人、70 歳以上 6 人であった。

- 参加者の満足度については、「たいへん満足」あるいは「満足」と答えた人が 63%、「ふつう」と答えた人が 13%、「不満」あるいは「たいへん不満」と答えた人はいなかった。

<開催内容>

◆協会の基本方針・重要事項の説明

(井原委員)

- 経営委員会は放送法の定めにより設置されている機関です。経営委員会の役割は、NHKの経営の基本方針などの議決や、会長以下NHK執行部の役員の業務の監督などとなっており、NHKの経営に対する重い責任を負っています。経営委員会は、衆参両議院の同意を得て、内閣総理大臣より任命された12名で組織されています。
さらに、経営委員の中から監査委員が任命され、経営委員を含めた役員の職務の執行を監査しております。経営委員会はこのような重い責任を果たすために放送法で視聴者の皆さまのご意見を直接伺うことが定められています。

○NHKでは、平成20年10月に平成21年度から23年度までの3か年経営計画を策定し、視聴者の皆さまに公表しました。スローガンである「いつでも、どこでも、もっと身近にNHK」に基づき、NHKと視聴者の皆さまをつなぐ2つの経営指標を立てています。

1つは、NHKへの接触者率を23年度末までに80%にすることです。放送を通じてはもちろんのこと、インターネットや携帯電話など、放送以外のメディアでも、確かな情報やより豊かなコンテンツを積極的にお届けし、NHKに触れていただく方を増やしていきたいという目標です。

もう一つは、受信料の支払率を23年度末までに75%、25年度末までに78%まで高めることです。これは、受信料で公平にNHKを支えていただくための取り組みの目標です。受信料の公平負担への取り組みが、公共放送を支える受信料制度を堅持していくために取り組まなければならない、極めて重要な課題であると認識をしています。

そして、この経営2目標の実現に向けて、具体的な9つ経営方針を立てています。

- ・方針1 視聴者のみなさまの信頼を高めるため、組織風土改革に全力をあげます。
- ・方針2 日本の課題、地球規模の課題に真正面から向き合います。
- ・方針3 放送・通信融合時代の新サービスで公共放送の役割を果たします。
- ・方針4 地域を元気にするための拠点となります。
- ・方針5 日本を、そしてアジアを、世界に伝えます。
- ・方針6 円滑な完全デジタル化に向けて、重点的に取り組みます。
- ・方針7 構造改革を推し進め効率的な体制で受信料の価値をより大きくします。
- ・方針8 受信料を公平に負担していただくための取り組みを強化します。
- ・方針9 環境経営に着実に取り組みます。

以上の9方針でございます。

本経営計画では、これら経営2目標、9つの経営方針を着実に遂行し、平成24年度から受信料収入の10%を視聴者の皆さまに還元できるような、収支の構造を構築することを約束しています。本計画の期間も半ばを過ぎましたが、この経営2目標の達成状況を申し上げますと、接触者率は平成22年6月時点で74.5%、受信料の支払率は平成21年度末時点で72.2%となっています。

○次に、平成22年度の収支予算事業計画について、ポイントをご説明いたします。平成22年度の予算と事業計画は、3か年経営計画の9つの経営方針を重点事項として事業運営を行っています。

- ・事業収入予算は6,786億円です。このうち、受信料収入は6,550億円です。21年度予算に対しまして、60億円の増を見込んでいます。

これに対して、番組制作費などの事業支出は6,847億円です。従いまして収入から支出を差し引きました事業収支差金は61億円不足となる赤字予算です。これは、地上テレビ放送の完全デジタル化のための追加経費の影響によるもので、この赤字分につきましては、これまでの繰越金を充当します。

- ・また、地上テレビ放送の完全デジタル化に向けた放送所や、あるいは番組スタジオの設備などを実施するための建設費は709億円です。
 - ・経営目標である受信料の支払率は、22年度末は73.4%を目指しています。
 - ・2011年に迫った地上テレビ放送の完全デジタル化に向けた取り組みを継続して行います。今年度デジタル化にかかる経費は、事業費と建設費をあわせて715億円です。
 - ・地域、防災、福祉などの問題につきまして、視聴者の皆さまとともに考え、ともに作る番組やイベントに取り組んでいます。
 - ・「3-Screens」への取り組みとして、放送・通信融合時代の到来にあわせて、テレビを軸としながらも、インターネットや携帯端末などへも公共放送としての確かな情報や、魅力的なコンテンツをお届けしています。一昨年12月にスタートした、NHKオンデマンドにつきましても一層の充実を図っています。
 - ・NHKでは、国際放送も重要な役割ととらえており、その情報発信を強化して、受信環境を整備し、22年度末までに、世界の1億3,000万世帯で受信可能になるよう取り組みを進めています。
 - ・視聴者の皆さまの声を反映して経営計画に取り組んでいます。この「視聴者のみなさまと語る会」でいただくご意見、ご要望も、今後のNHKの経営に反映させていきます。
 - ・なお、NHKの事業支出のおよそ7割が「国内放送番組の制作と送出」の予算に充てられています。
- 今年度は経営計画の2年目であり、計画を達成するための取り組みを進める重要な時期です。経営委員会は、執行部とともにそれぞれの役割を全力で果たしていきます。本日、高知の皆さまからいただく、ご意見、ご要望は、経営委員会はもちろん、執行部とも共有し、今後のNHKのあり方に反映をさせてまいりたいと思っています。

《視聴者の皆さまからのご意見とNHK側からの回答》

第1のテーマ：NHKの放送について

【会場参加者】

最近、連続テレビ小説や大河ドラマの質が非常によくなっていると思います。一時期、大河ドラマに若手で演技の未熟な方を起用した時期があったと思うのですが、そうしたことがあると、ファンが離れてしまいます。やはり、演技のうまい役者を起用したほうがいいのではないかと思います。

【会場参加者】

今、放送している「坂の上の雲」は第2部で、来年の第3部で完結ということですが、なぜ一度に放送せずに、3年に分けるのでしょうか。このような番組編成をした理由を教えてください。

【会場参加者】

NHKの全体評価として、親しみを感じるという目標が50%を超えたということは、大変いい傾向だと思います。NHKに親しみを感じるという指標を上げるには、地域でもコールセンターのような意見を聞く仕組みが大事ではないでしょうか。

また、ふれあいミーティングやこの語る会のように地域の意見を聞くことや、地域の放送をもっと全国に発信するなど、いわゆる地域に密着した取り組みが大事です。それが結局、NHKにとって視聴者に受信料を支払っていただくという意識を持たせることになるのではないかと考えます。

(黒木理事)

連続テレビ小説や、大河ドラマなどについて申しますと、時代に合った新しい物語をつくりたいと考えて、出演者もできるだけ新しく登場してきた人の中から選ぶようにしています。同時に、脇役を固めないと、ドラマに厚みが出ませんので、ベテランも起用するようにしています。

それから、「坂の上の雲」の編成です。まとめて放送したらいいのではないかというご意見はたくさんいただいておりますが、このドラマは準備から放送まで10年をかけ、全力を注いで取り組んでいます。全部完成してから放送するという考え方もありましたが、去年は、日本が開国150年という節目の年でしたので、明治の日本人の生き方を振り返るために、少し早めに放送を開始しようということで、3年に分けて放送しています。できるだけ再放送をするなど、視聴者の方にわかりやすく編成しているつもりです。

(酒井局長)

私たち地域の放送局が、皆さまから期待されている部分というのは、いかに地域の魅力や取り組みなどを全国に発信していくかということであると、常々感じています。例えば、8月の「よさこい祭り」は、まず、高知県内向けに中継し、それをベースに「日本の祭」という番組にして、BSハイビジョンで全国放送しました。こうした取り組みは今後も続けていきます。

また、地域の課題に対しても、視聴者の皆さまと一緒に考えながら、向き合いたいと思います。

(井原委員)

放送に対する視聴者の評価で、親しみが上がっているのは好ましいことだというご意見、大変ありがたく受けとめました。「接触者率」という量的な側面を目標として掲げていますが、放送に対して視聴者の皆さまが、どのような評価をしてくださるかという点も大変心にかけていることです。それを評価いただいたことは大変ありがたく、さらに取り組んでいきたいと思っています。

(永井技師長)

この10月から、コールセンターを少し強化する取り組みを始めました。視聴者の皆さまからのお問い合わせはしっかり受けたいと思っています。

【会場参加者】

NHK自体、この1年半ぐらいで、いい経営者に代わり、いくらかましになったかなと感じています。最近は少し目線が下がってきたかと思います。今までは、プライドが高すぎました。「龍馬伝」ではお金を使わず知恵を絞りました。映像もすばらしく演技者たちがひとつになり能力を発揮した。これからも受信料からお給料が出ているということを忘れないでいただきたいと思っています。

【会場参加者】

ラジオでは「ラジオあさいちばん」の中の「ビジネス展望」と「地球ラジオ」を必ず聞いています。テレビでは、「NHKスペシャル」、「BSドキュメンタリー」。これらは、NHKでなければできない番組です。NHKにしかできない番組にこれからも力を入れていただきたいと思っています。

NHKは、歴代いいアナウンサーがいました。落ち着いていて、透明感がありました。この点を生かし、報道番組に力を入れていただきたい。

また、今後は、世界の情勢を日本に知らせると同時に、日本を世界に知らせる努力をしていただきたいということを要望します。

【会場参加者】

激しい雷雨の時にBS放送の映像が消えますが、これは衛星放送の特性として仕方のないものなのではないでしょうか。

【会場参加者】

現在私は、地縁・血縁などが失われて、迷っている子供たちを何とかしたいと思い、非行や不登校の子供たちを預かっています。頑張っている子供たちの姿を新聞に投稿し、記事にしてもらっています。

できればNHKでも、地域で頑張っている人の声を届けるシステムを作っていただきたいと思っています。

(大滝委員)

NHKが視聴者の皆さまの目線に立っているかどうかということについて、少し厳しいご意見、また、この1年半ぐらいの間に、少し変わってきているという励ましのご意見、ありがとうございます。

私も、会長が外部から来て、かなり抜本的な経営改革に取り組んでいると思います。視聴者の皆さまの目線に立つこと、それから、誰から受信料をいただいているのかしっかり自覚して番組を作る、あるいは報道することについて、経営委員会の中でも議論をしています。しかし、今も不祥事は起きており、改革については、まだ道半ばだと思っています。

今いただいたご意見は、励ましのお言葉と思っていますし、今後とも経営委員会でも、視聴者の皆さまの目線から外れないように、しっかりと様々なことを進めていきたいと思っています。

【会場参加者】

不祥事が起きたら改めればいいことで、陰でこそこそやっていたら、いつまでもたっても一緒だと思います。また、魅力的な人を育てるようなシステムがあると、結果として目線が違ってくると思います。

(酒井局長)

今、何が起きているのかという点は、私たちも常に気にしています。そこに向き合い、描けているかと言えば、まだ不十分かもしれませんが、例えば、高知放送局が制作している「とさ金8」という番組では、大学生をスタジオに招いて、一つの問題について専門家の方と意見を交換して考えるというような取り組みもしています。

また、こういう番組はどうか、こういった取り組みをしているので番組で取り上げて欲しいなど、NHK高知放送局のホームページからメールでご意見をいただけるようになっていきますので、お寄せくださればと思います。

(末田アナウンサー)

パソコンをうまく使えない場合には、お電話での受け付けもありますので、ご意見をどんどんお寄せいただきたいと思います。

(永井技師長)

衛星放送は、衛星から電波を出していますので、日本全体をカバーできるというメリットがある一方で、残念ながら、激しく雨や雪が降ると見えなくなるというデメリットがあります。これは、雨や雪などがスクリーンのようになって、電波を遮断してしまうためです。

【会場参加者】

連続テレビ小説が8時からの放送になったおかげで、私は毎朝出かける前、楽しみに見ております。時間帯を変えたのはなぜでしょうか。私にとってはとても都合のいい時間帯になりました。

【会場参加者】

私は、朝早く出勤して、夜遅く帰宅するので、連続テレビ小説は見る事ができません。「ブラタモリ」も夜中の再放送をたまたま見られただけです。テレビを見ることが出来る時間帯は、すべての人が同じとは限らないので、深夜帯を含めもう少し放送時間を検討していただきたいと思います。

【会場参加者】

録画のことについて、お伺いします。連続テレビ小説は必ず見ているのですが、たまに見られない時、録画をすると、最後の1分が切れてしまいます。機械が悪いのか、デジタルの仕組みなのか、わかりませんが、一番いいところが見られないので困っています。原因をご存知でしたら、教えてください。

(永井技師長)

基本的には、きちんと録画できるはずですが。私も仕事柄、いろいろな機種を買って試していますが、大丈夫です。テレビの画面に番組表を表示して、そこから予約をすると番組はすべて入るはずですが。メーカーにうまく録画ができない、とお問い合わせになるのがベストだと思います。

(黒木理事)

番組の編成は、どの時間帯にどういう方々が在宅しているかということ进行调查して、時間帯ごとにふさわしい番組を編成するということを基本方針にしています。例えば、朝の時間は、主婦の方向けの番組を多く編成し、

夜7時台、8時台は家族そろってご覧いただけるような番組を編成しています。

再放送についても、さまざまな配慮をしながら編成しているのですが、生活パターンもいろいろありますので、すべての方にご満足いただけるような編成ができていないということもあると思います。

評判のいい反響の大きい番組については、随時いろいろなところで、特別に再放送の編成をしていますので、ご要望がありましたら、ぜひお寄せください。

(酒井局長)

高知放送局にも「龍馬伝」や龍馬関係の番組をもう一度見たい、再放送はできないのかという声をいただいています。出演者の権利関係、出演料などについて調べているところです。その結果を踏まえて検討したいと思っています。

【会場参加者】

NHKの放送はすべて正しいと思われている方が非常に多いと思います。私は、「安芸岩崎弥太郎・ころざし社中」で仕事をしているのですが、お客様に、岩崎弥太郎と坂本龍馬はあれほどしょっちゅう会っていたのかと聞かれました。あれはドラマですとお答えしたところ、いや、NHKがいうことだから間違いないといわれました。史実に基づくものや言葉などは正しく、的確に内容を伝えるということがとても大事だと思います。

【会場参加者】

天気予報で日本全国北から南まで出るときに、中四国では広島だけが出るときと、高知と広島が出るときがあります。何に基づいて、そのようにされているのかということが、以前から疑問でしたので教えてください。

【会場参加者】

今の日本は、国民のあり方という意味で大変課題が多い中、「坂の上の雲」のドラマ化はタイムリーだったのではないかと思います。番組を制作する意思決定というのは、NHK職員が提案しているのでしょうか。それとも、NHKが政策的に考えているのでしょうか。

【会場参加者】

病院での治療は、お金がかかります。また、毒入れ事件みたいなのが高知で行われていますし、放射線かけた実の出ない玄米とか販売されています。それを放送してもらいたいです。

(末田アナウンサー)

NHKの番組の中で取り上げてほしいというお話だと思いますが、後ほど時間がありましたら、お伺いすることがあるかも知れません。

(黒木理事)

大河ドラマも「坂の上の雲」のようなスペシャルドラマも、ドキュメンタリー番組もすべて現場の制作者の提案が基本です。

全国各地から地元のヒーローを大河ドラマに取り上げてほしいというようなご要望がよくあり、私たちはご要望として受けとめますが、番組の企画については、企画本位で現場が決めることになっています。

(酒井局長)

天気予報ですが、高知県向け放送の場合は、県内をなるべく細分化して出すようにしています。ただ、夕方の時間帯など天気予報の時間を長く取れるところとそうでないところで違いはあります。これは全国放送でも同じことなのですが、時間が限られていますと、どうしても表示する箇所が少なくなってしまうことがあります。

かつて、全国放送のニュースでは、すべての県庁所在地を表示しなかったのですが、最近は表示して情報に厚みを出すという考え方になり、天気予報も変わってきているところです。

(黒木理事)

大河ドラマについて、確かに史実とフィクションの境目がよくわからないという声をいただきます。歴史年表に出てくるような大きな事件や出来事については、なるべく史実に忠実に描いていますが、主人公の人間像、あるいは人間関係のようなところは、ドラマのテーマに沿ったフィクションを入れています。

ドラマに関連した番組では、史実についての的確に放送していきたいと思っています。

第2のテーマ：NHKの経営全般について

【会場参加者】

今年は「龍馬伝」によって、高知がどれだけ活性化したかわかりません。ぜひ次は長宗我部元親をやっただけがあればありがたいと思います。

ところで、NHKは受信料収入があり、法人税が免除されているなど、今のこの厳しい経済環境の中、民間企業とは随分違うと思います。そうした意味からも、経営方針の1番と7番、すなわち経営の意識改革や組織風土改革、構造改革といったことに、具体的にどのような取り組みをしているのか。また、経営委員はそれをどうチェックをしているのかという点につい

て、お聞かせください。

【会場参加者】

受信料の支払率について伺いますが、平成21年が72.2%で、3年後の目標が75%ということは、単純に1年間で1%ずつ上げていく計画ということになります。受信料の支払率があまり上がらない一番大きな原因は何かということと、どのような対策をとっているのかということをお伺いしたいと思います。

【会場参加者】

最近の若い人は、パソコンでテレビを見たり、携帯電話でワンセグ放送を見たりすることがあると思うのですが、このような場合、受信料は払わなくても見ることができるのかという疑問が一つです。それから、受信料を税金にするとか、視聴者が公平に支払う方法はないのかという点がもう一つの疑問です。

【会場参加者】

今回、事前アンケートを一生懸命、2時間かけて書いたのに、ひとり2分以内では、意見を言う時間が足りません。事前アンケートは、どのように扱われるのですかというのが質問です。

(末田アナウンサー)

事前アンケートはきちんと読みまして、善処、改善するという方向に役立てたいと思っています。

また、今この場で生の声を聞かせていただきたいので、是非これは言いたいということがあればありがたいです。

【会場参加者】

かつて紅白歌合戦で、外国人のオペラ歌手が出演して歌ったことがありました。日本人の歌手だけが出てくるのは、飽きていますので、外国の歌手を出演させるなど、もっと楽しくなるような演出を考えてほしいと思います。

(永井技師長)

支払率を目標に向けてどのように伸ばしていくのか、という質問がありました。もちろん、本当は、支払率は100%でなければいけません。ただ、現実的には、すぐに100%とはいきませんので、少しずつ上げていこうという取り組みをしているところです。引越しによる移動などの捕捉がなかなか出来ない現実がありますが、電気店でのテレビ購入者情報やケーブルテレビ事業者情報から、受信契約に結びつける活動などしています。また、

事業所では2台目以降や単身赴任の方などには割引をしています。現在、契約率は77%です。

しかし、この中に契約はしているが、払っていただけないという方が、残念ながらいらっしゃいます。お支払いいただけるように何度も訪問して丁寧に説明していますが、それでも払っていただけない人たちに対しては、法的な措置をとらせていただくということもしています。

それから、実際に受信機があることがわかっていながら契約をいただけない人たちに対しても、同様にしています。

(井原委員)

経営目標は、視聴者の皆さまへのお約束であり、また、公平負担というのは、公共放送を支える重要な課題だと認識しており、これをいかに達成するかについては、具体的な施策まで含めまして執行部と常に議論しています。

方針1の組織風土の改革に向けましては、執行部が改革推進プロジェクトという、いわゆる部局を超えて業務の課題を洗い出し、その解決に向けた取り組みをしていますので、進捗状況を常に報告してもらっています。また、内部統制の取り組みについても定期的に報告を受けています。さまざまな課題とその取り組み状況については、常に検証しております。

また、方針7の構造改革に関しましては、執行部では、限られた経営資源を適正にシフトするために、ヒト・モノ・カネをトータルコストとして把握するためのトータル管理という手法を検討し、さらにグループ経営を最適化するために子会社の再編統合を進めるなどしています。こうしたことが、どのような状況であるのかということを中心に検証し、監督という課された任務の遂行に向けて努力をしています。

(永井技師長)

パソコンや携帯電話でテレビをご覧になっている方の受信料についてですが、受信料は、テレビの受信機を設置された世帯と契約を結んで所定の料額をいただくという制度です。

テレビを見ることができるとパソコンや、ワンセグ放送を見ることができる携帯電話も受信機です。したがって、すでに受信契約をしている世帯の方がワンセグ放送を見ることができる携帯電話を持たれても包括されます。しかし、テレビは持っていないが、ワンセグ放送を見られる携帯電話は持っているという方がいらっしゃれば、受信料をいただく必要があります。

ただし、テレビを見ることができないパソコンで、動画のサイトを通じてNHKの番組を見たり、NHKのホームページでニュースなどをご覧いただく場合には、リアルタイムの放送ではありませんので受信料をいただく必要はありません。

しかし、これからは、インターネットを使っていろいろな動画情報を展

開していく時代になります。NHKでもインターネットを使った情報の発信の強化を検討するとともに、新しい時代の受信料制度を考えていかなければいけないと考え、これからの受信料制度を検討しているところです。これは次の3か年計画の中で、検討しなければいけないと思っています。

(黒木理事)

先ほど「紅白歌合戦」についてのご意見がありました。基本的には、日本文化の振興、文化芸術の振興という観点からも、やはり日本で活躍するアーティストが対象になると思っています。ご理解いただきたいと思えます。

ただ、昨年イギリスのスーザン・ボイルさんに出演していただいたように、今後も時折、スペシャルゲストのような形で海外のアーティストにもご出演いただく機会があるかと思えます。

【会場参加者】

国民はNHKが放送したことが真実だと受け取っています。このドラマはフィクションですと言っても、視聴者が真実だと認識した場合には、それが結果なのです。NHKには結果主義でやっていただきたいと思えます。公共放送であるNHKが視聴者に疑念を抱かせるようなことをすると、国民には非常にフラストレーションがたまります。NHKには、国民にとって、一番大事なものを、きちんと伝えていく姿勢を明らかにしていただきたいと思えます。政府の広報機関ではなく、国民の側に立つ公共放送であるというスタンスを示し、伝えるべきことを伝えていただきたいと思えます。

【会場参加者】

介護が必要な人がいる場合、家族はどう支えていくのか、社会はその家族をどう支えるのかというような番組は、NHKにしかできない番組だと思います。ぜひこのような番組をもっと放送していただきたいと思えます。

【会場参加者】

11月22日付けの新聞に「公共放送の将来像提示へ」というタイトルの記事が出ています。ドイツは、受信料を受信機の有無に関係なく全世帯から徴収するなど記載されているので、ぜひ後ほど経営委員、執行部の皆さまには見ていただきたいと思えます。

【会場参加者】

デジタル放送とアナログ放送では、同じ放送でもデジタル放送のほうが何秒か遅れますが、どちらが正しいのでしょうか。

(永井技師長)

NHKは報道機関であり不偏不党と、番組編集の自主自律ということが放送法にもうたわれています。自分たちの責任において、視聴者の皆さまに正しい情報をきちんと伝えることが一番だと思っています。

NHKの伝える内容に、正確さと迅速さがなくなったらNHKの意味がありません。インターネット社会では、いろいろな情報が氾濫しています。そうした中でもやはりNHKの情報を信頼していただくことが、一番重要なことだと思いますので、しっかり取り組んでいきたいと思っています。また、コンプライアンスの観点でも、しっかりと取り組んでいかなければいけないと思っています。

デジタル放送はアナログ放送より遅れるというご質問ですが、デジタル放送は、ハイビジョンというすばらしい高精細度の情報や、データ放送など、いろいろなサービスを楽しめるようにした結果、アナログ放送と違って多量の情報を圧縮していますので、遅れが出てしまうということです。しかし、緊急地震速報など即座に伝えなければいけない情報については、アナログ放送と同じぐらいの時間で届くような仕組みを取り入れるなど、必要なところは新しい技術で対応したいと考えています。

<経営委員によるまとめ>

(井原委員)

いつも「視聴者のみなさまと語る会」でいただくご意見は、心に残りますが、今日はまたその思いひときわという気持ちがしています。常に視聴者目線に立って放送に取り組むように、国民と共にある公共放送足り得るように、公平、公正、真実の情報に常に努めよ、とのことでした。それは、本当に心に残るご意見でした。

私は、一体公共放送の役割は何だろうと日々問いながら仕事をしていますが、公共放送NHKは民主主義の根幹を支える、ひとつの社会基盤の役割を果たさなければいけないと思っています。

完全デジタル化を控えて、NHKを取り巻く状況は、大きく変わろうとしています。NHKは、その中でどう進むべきなのか、公共放送の役割をどう果たすべきなのか、そして、そのNHKを支えていただいている受信料制度のあり方をどうするのかなど、課題は大きくて重いと思っています。だからこそ、今回の一つ一つのご意見を大切にしながら、役職員力を合わせて、これからのNHKをつくっていきたいと思っています。

(大滝委員)

私は東北地域から出てきているということもあり、皆さまから地域放送の重要性や、地域の力などについて、ご意見をいただき、本当にありがたいと思っています。

NHKのメディアを使って、もっと地域で頑張っている人たちを取り上げてほしいとか、地域の中でいろいろな問題が発生し、無縁社会になりつつあり、新しい絆をつくる必要があるになっているというご指摘があったかと思います。

ただ、このような問題は、ある特定の地域だけに起こっているわけではなくて、日本全国で、同じような問題が起こっているということも事実です。地域放送が独自に少しずつ問題を取り上げるというだけではなくて、やはり全国的な視点から、こうした問題を共通の課題として取り上げて、共同で解決策を探っていくというような取り組み、そういうことも非常に大事だと思っています。

それから、日本にもこんなすばらしいところがある、日本にもこんなにすばらしいことをやっている人たちがたくさんいるということ、海外にもしっかりと伝えていくということが、巡り巡って地域を豊かにしていくことになるのではないかと思います。

NHKが、特に地域放送の中で果たすべき役割が非常に大きいということは、私ども強く自覚しています。経営委員会の中でも、こうした議論はたくさんしてまいりまして、「放送局の力」というプロジェクトの中で、いろいろな努力を尽くしたいと考えています。

(浜田委員)

現在の公共放送としてのNHKにとって、法的義務化を伴わない受信料制度というものは、ある意味では先人のいろいろな知恵の結晶であると思っています。そのためにも、受信料制度を、NHKとして維持、発展させることが大変重要だと思っています。そのためにも、もちろんいい番組を制作し、いい報道をすることは当然ですけれども、あわせていい経営もなされなければならないと思っています。先ほどご意見にもありましたが、まずは構造改革、組織風土改革を徹底する。さらに、放送と通信の融合の問題、国際放送の問題など、先をにらんだ企画構想力のある経営が求められると思います。

経営委員会の重要な仕事の一つに、経営計画の策定があります。そういう意味でも、今日いただきましたご意見を、次期経営計画に反映させるべく努力をしていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。

<視聴者の皆さまと語る会 in 高知>参加者当日アンケート

1. 性別

男性	女性	不明
15	10	7

2. 年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
男性			1	2	3	6	3	
女性		1	2	1	1	4	1	
不明			1		1	3	2	

3. 今回のイベントを何でお知りになりましたか。(複数回答)

放送	ホームページ	新聞広告等	知人から聞いて	その他
6	5	5	15	1

4. 今回のイベントに参加していかがでしたか。

①たいへん満足	②満足	③ふつう	④不満	⑤たいへん不満	未回答
6	14	4	0	0	0

5. 一番印象に残ったコーナーはどこでしたか。(複数回答)

①経営計画ほか	②放送について	③経営など全般	④講演会(龍馬伝)	未回答
5	14	9	7	4

6. NHK経営委員会の仕事を知っていましたか。

①よく知っていた	②知っていた	③知らなかった	④その他	未回答
5	8	17	2	0

7. イベントに参加して、経営委員会の活動について理解が深まりましたか。

①理解が深まった	②特に変わらない	③わからない	④その他	未回答
23	4	2	1	2

<アンケートに寄せられた主なご意見>

○放送について

- ・高知放送局の夕方番組で1日の反省と整理をしている。長く人情味のある前向きな番組を期待する。
- ・公共心は今の日本人に必要な教育。無縁社会でなくどこかで誰かと繋がっていることを感じる番組を期待する。
- ・国際放送で日本の情報を世界に発信していただきたい。
- ・「列島縦断鉄道乗りつくしの旅」等をBSデジタル放送で見て感激した。
- ・高知県は災害に弱い土地なのでNHKの発信強化を。
- ・足摺ノジギクの取材をして欲しい。
- ・発音のできていないアナウンサーは至急改善して欲しい。
- ・連続テレビ小説では、ケンカや暴力のシーンを避けて欲しい。
- ・若者に見てもらえる番組作りをして欲しい。
- ・介護問題など日本の課題を今後も取り上げて欲しい。
- ・ハードディスクでテロップなどを表示させない設定ができるようにできないか。

○経営全般について

- ・NHKの経営について知る良い機会であった。
- ・経営そのもの、活性化策等についてもっと聞きたかった。
- ・23年7月のアナログ停波までにTVの買い替えをできない人への支援策はあるのか。
- ・NHKは、不偏不党、公正中立、結果主義で。
- ・NHKについてよく知ることができた。
- ・NHKを近くに感じられた。
- ・料金未納者が自分から払いたいと思うような取り組みをすべき。
- ・スピードをもって素敵に変わって欲しい。
- ・支払率の向上に力を、民間では70%台など考えられない。

○その他運営等について

- ・遠い存在だったNHKが身近に感じられた。
- ・いろいろな意見を伺えて興味深かった。
- ・質問する時間がなかったので、ホームページ等に質問する場を設けて欲しい。
- ・事前アンケートの回答をどこかで公開して欲しい。

- ・ 経営委員、執行部から適切な回答をもらい理解できた。
- ・ もっと質問したかったが、時間の関係もあり控えた。
- ・ 事前に提出したアンケートの回答が十分になされなかった。
- ・ 事前アンケートのまとめを事前に提示したらどうか。
- ・ 短い時間で自分の思いをまとめるのは大変。もう少し時間が欲しかった。
- ・ いろいろな意見に対し、とても真剣に答える姿勢にびっくりした。
- ・ 「龍馬伝」の話をもっと聞きたかった。